

vi. 子育て支援に関するアンケート調査

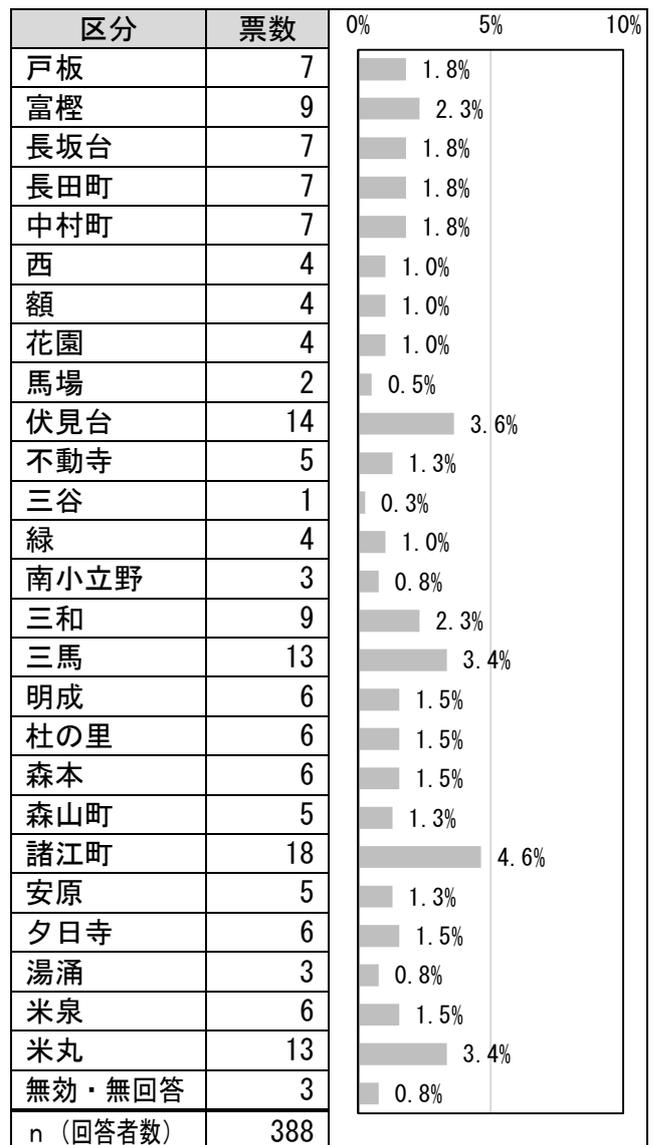
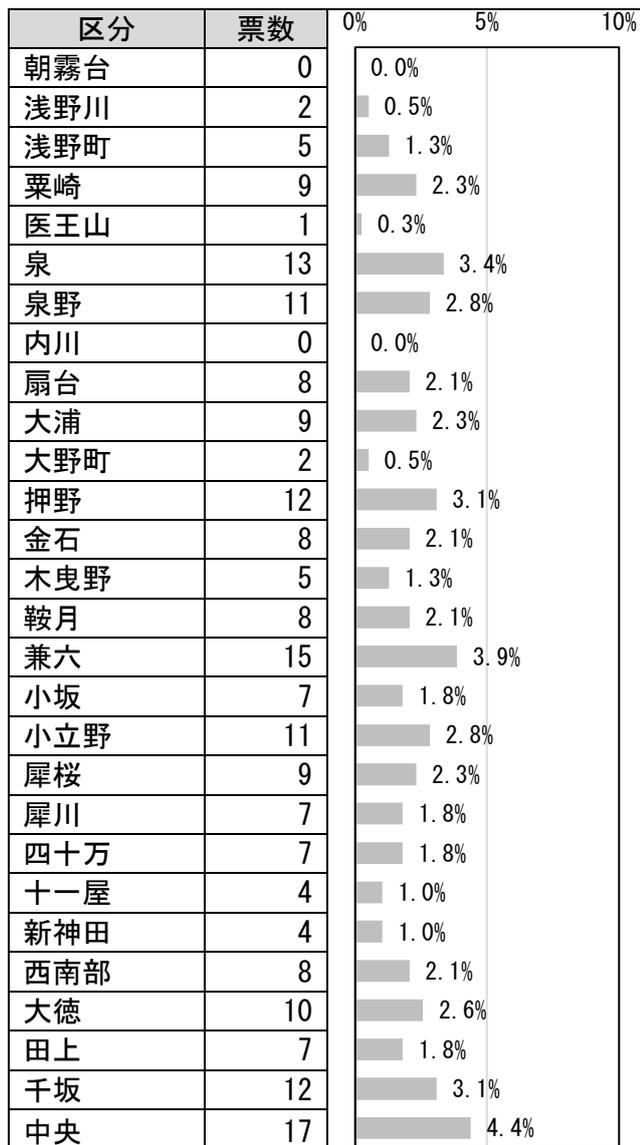
《対象：55 歳以上 75 歳以下の方》

1 回答者の住まい

(1)お住まいの小学校区(単一回答)

問1 お住まいの小学校区(校下)名(お送りした封筒の住所の上に記載してあります。)を教えてください。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・お住まいの小学校区は、「諸江町」が4.6%、「中央」が4.4%、「兼六」が3.9%、「伏見台」が3.6%となっています。

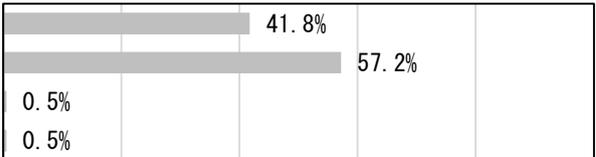


2 回答者の属性

(1)性別(単一回答)

問2 あなたの性別をお答えください。あてはまるもの1つをお選びください。

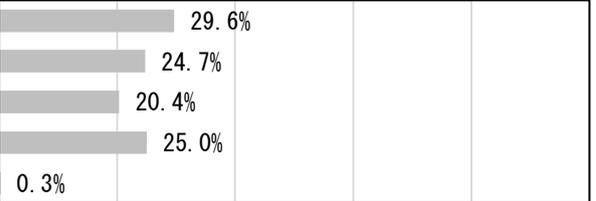
・性別は、「男性」が41.8%、女性が57.2%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
男性	162						
女性	222						
その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)	2						
無効・無回答	2						
n(回答者数)	388						

(2)年齢(単一回答)

問3 あなたの年齢は令和5年12月1日現在、何歳ですか。あてはまるもの1つをお選びください。

・年齢は、「55～59歳」が29.6%、「60～64歳」が24.7%、「65～69歳」が20.4%、「70歳以上」が25.0%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
55～59歳	115						
60～64歳	96						
65～69歳	79						
70歳以上	97						
無効・無回答	1						
n(回答者数)	388						

(3)配偶者・パートナーの有無(単一回答)

問4 配偶者・パートナーはいますか。あてはまるもの1つをお選びください。

・配偶関係は、「配偶者・パートナーがいる」が72.7%、「配偶者・パートナーはいない」が26.8%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
いる	282						
いない(死別・離別を含む)	104						
無効・無回答	2						
n(回答者数)	388						

(4)家族構成(単一回答)

問5 あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・家族構成は、「夫婦のみ」が最も多く33.5%となっており、次いで「自分たち夫婦 + 子世代」が24.7%、「ひとり暮らし」が15.2%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ひとり暮らし	59	15.2%					
夫婦のみ	130	33.5%					
自分たち夫婦 + 親世代	6	1.5%					
自分 + 親世代	8	2.1%					
自分たち夫婦 + 子世代	96	24.7%					
自分 + 子世代	31	8.0%					
自分たち夫婦 + 親世代 + 子世代	28	7.2%					
自分 + 親世代 + 子世代	4	1.0%					
自分たち夫婦 + 子世代 + 孫世代	10	2.6%					
自分 + 子世代 + 孫世代	7	1.8%					
その他	7	1.8%					
無効・無回答	2	0.5%					
n (回答者数)	388						

3 地域活動

(1) 町内活動や地域活動などへの参加状況(単一回答)

問6 現在、あなたは町会、婦人会、老人クラブなどの活動やそれ以外の地域活動、ボランティア活動に参加していますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・町内活動や地域活動などへの参加状況は、「参加している」が37.9%、「参加していない」が61.6%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
参加している	147						
参加していない	239						
無効・無回答	2						
n (回答者数)	388						

(2) 町内活動や地域活動などへの参加理由(複数回答※3つまで)

問6 町内活動や地域活動などへの参加状況で「1. 参加している」を選んだ方

問7 現在、活動に参加している理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- ・町内活動や地域活動などへの参加理由は、「誰かがしないとといけない活動だから」が最も多く57.8%を占めており、次いで「地域社会に貢献したいから」が43.5%、「地域住民や仲間との繋がりが欲しいから」が36.1%となっています。

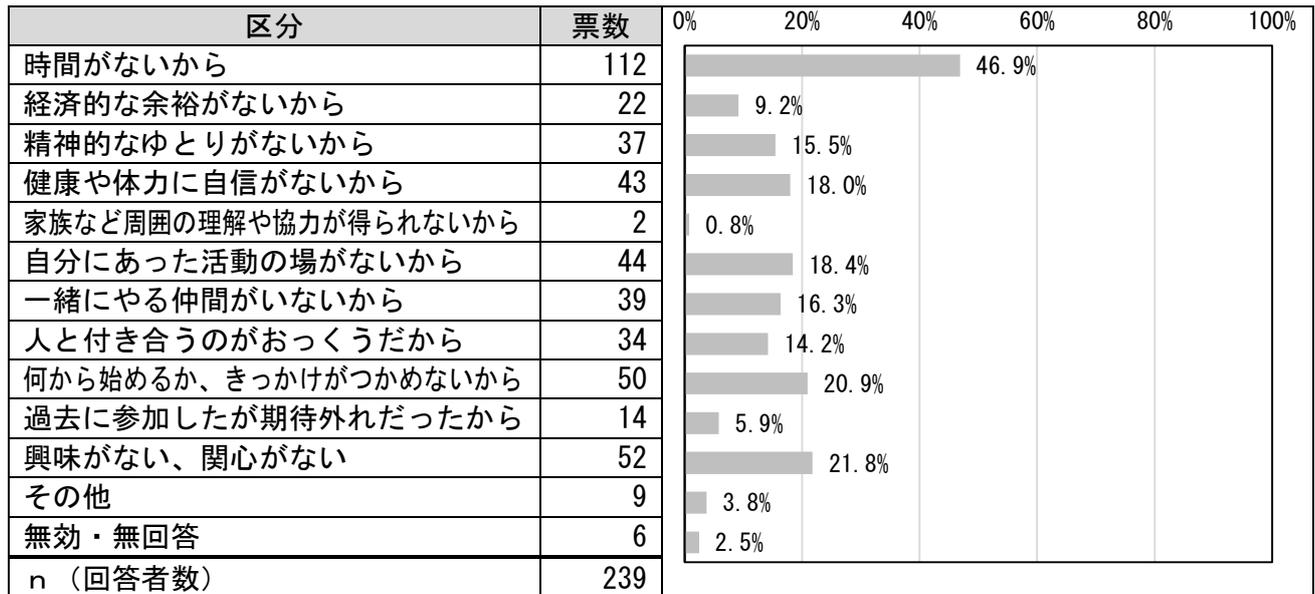
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
生活が充実するから	27						
地域社会に貢献したいから	64						
地域住民や仲間との繋がりが欲しいから	53						
時間があるから	26						
経済的な余裕があるから	2						
精神的なゆとりがあるから	5						
家族に勧められたから	2						
友人・知人に誘われたから	15						
誰かがしないとといけない活動だから	85						
その他	5						
無効・無回答	6						
n (回答者数)	147						

(3)町内活動や地域活動などへ参加していない理由(複数回答※3つまで)

問6 町内活動や地域活動などへの参加状況で「2. 参加していない」を選んだ方

問8 現在、活動に参加していない理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- ・町内活動や地域活動などへ参加していない理由は、「時間がないから」が46.9%と最も多くなっており、次いで「興味がない、関心がない」が21.8%、「何から始めるか、きっかけがつかめないから」が20.9%となっています。



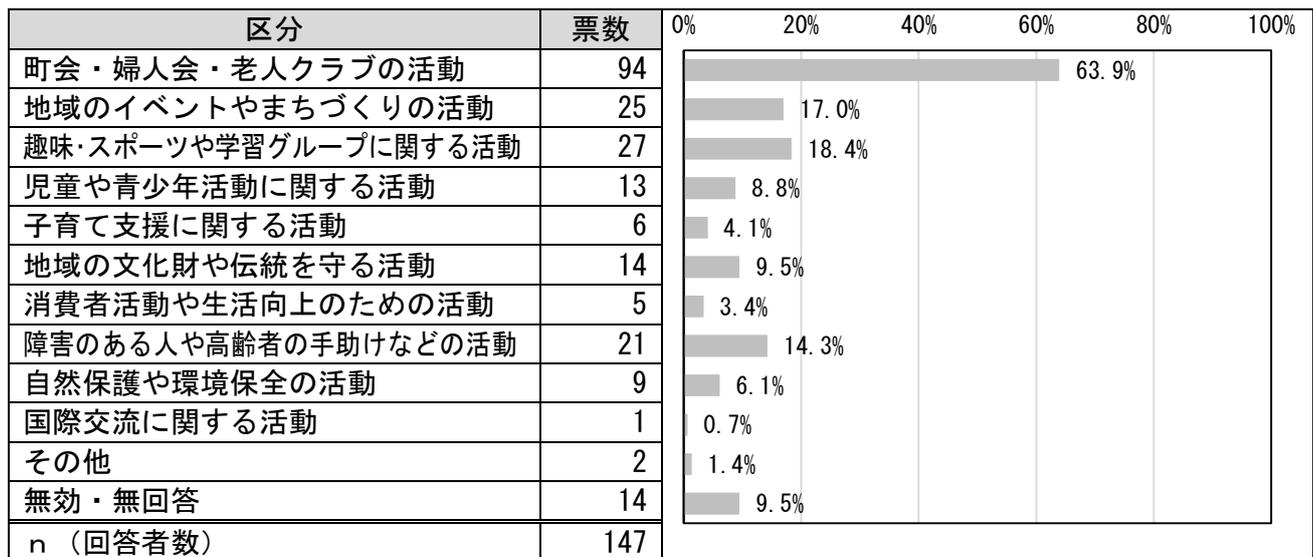
(4)参加している活動・参加してみたい活動

問9 問6で「1. 参加している」を選んだ方は、現在参加している活動を、「2. 参加していない」を選んだ方は、今後参加してみたい活動について、あてはまるものすべてをお選びください。

現在参加している活動(複数回答)

問6 町内活動や地域活動などへの参加状況で「1. 参加している」を選んだ方

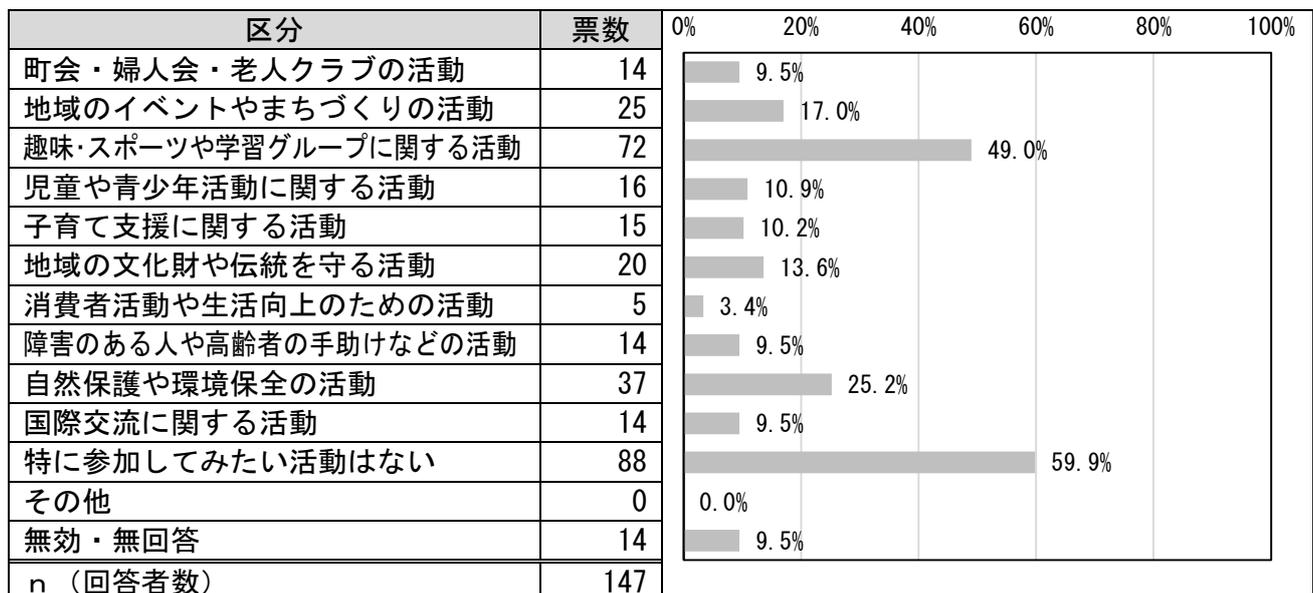
- ・現在参加している町内活動や地域活動などは、「町会・婦人会・老人クラブの活動」が最も多く63.9%を占めており、次いで「趣味・スポーツや学習グループに関する活動」が18.4%、「地域のイベントやまちづくりの活動」が17.0%となっています。



今後参加してみたい活動(複数回答)

問6 町内活動や地域活動などへの参加状況で「2. 参加していない」を選んだ方

- ・今後参加してみたい町内活動や地域活動などは、「趣味・スポーツや学習グループに関する活動」が49.0%、「自然保護や環境保全の活動」が25.2%と多くなっています。
- ・一方、「特に参加してみたい活動はない」が59.9%と最も多くなっています。



4 孫との関わり

(1)小学生以下の孫の有無(単一回答)

問10 お孫さん(小学生以下)はいますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- 小学生以下の孫の有無は、「いる(同居している)」が5.9%、「いる(同居していない)」が36.3%となっており、小学生以下の孫がいる方は42.2%となっています。また、小学生以下の孫が「いない」は57.2%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
いる(同居している)	23	5.9%					
いる(同居していない)	141	36.3%					
いない	222	57.2%					
無効・無回答	2	0.5%					
n(回答者数)	388						

(2)孫との関わり方(単一回答)

問10 小学生以下の孫の有無で「1・2(いる)を選んだ方

問11 お孫さんとはどのような関わりをもっていますか。あてはまるもの1つをお選びください。

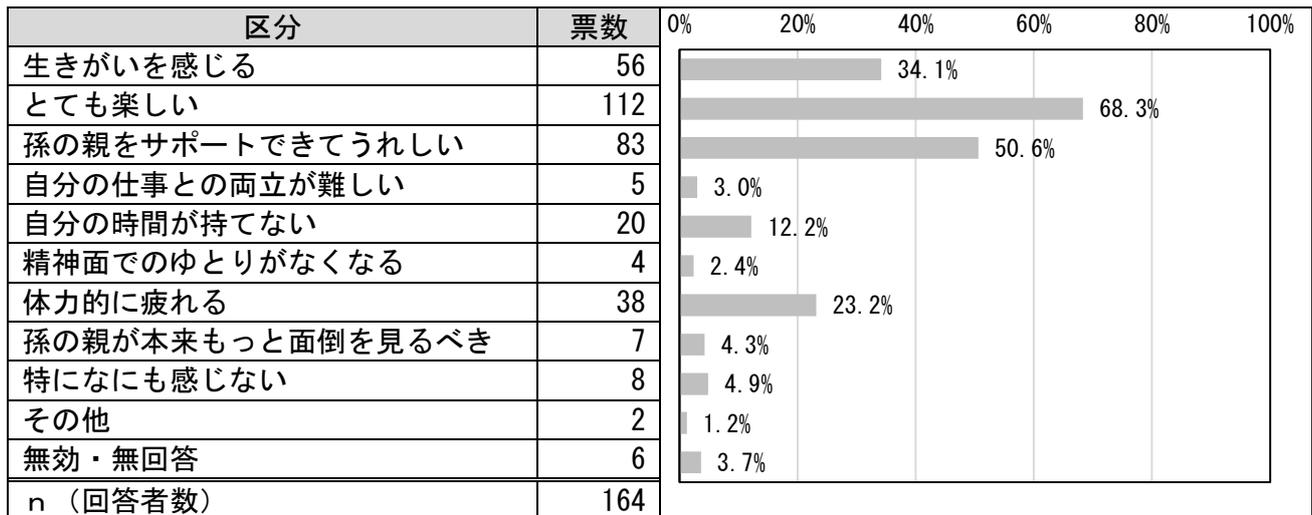
- 小学生以下の孫との関わり方は、「預かることはないが、たまに、孫の親と一緒に遊びに来る」が最も多く31.7%となっています。
- 「頻繁に、孫の親に代わって預かっている(面倒をみている)」が18.3%、「たまに、孫の親に代わって預かっている(面倒をみている)」が27.4%となっており、孫の親に代わって預かっている(面倒をみている)方は45.7%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
頻繁に、孫の親に代わって預かっている(面倒をみている)	30	18.3%					
たまに、孫の親に代わって預かっている(面倒をみている)	45	27.4%					
預かることはないが、頻繁に、孫の親と一緒に遊びに来る	16	9.8%					
預かることはないが、たまに、孫の親と一緒に遊びに来る	52	31.7%					
ほとんど関わることはない	21	12.8%					
その他	0	0.0%					
無効・無回答	0	0.0%					
n(回答者数)	164						

(3)孫を預かったときに感じることを(複数回答※3つまで)

問12 お孫さんを預かったり、接するときに、どのように感じていますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

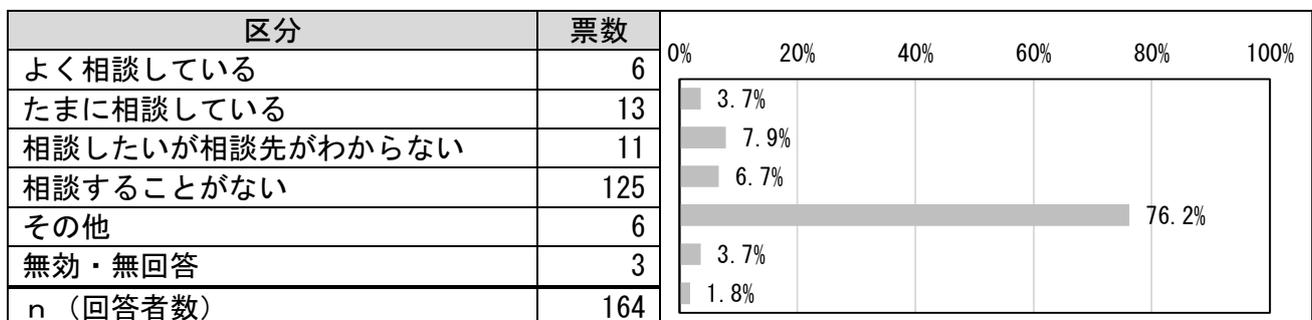
- ・孫を預かったり、接したりするときに感じることは、「とても楽しい」が68.3%で最も多くなっており、次いで「孫の親をサポートできてうれしい」が50.6%、「生きがいを感じる」が34.1%となっています。
- ・一方、「体力的に疲れる」が23.2%とやや多くなっています。



(4)孫に関する悩みごとの相談状況(単一回答)

問13 お孫さんに関する悩みごとなどの相談について、あてはまるもの1つをお選びください。また、1または2を選んだ方は、相談先を教えてください。

- ・孫に関する悩みごとの相談状況は、「相談することがない」が最も多く76.2%となっています。
- ・孫に関する悩みごとを「よく相談している」が3.7%、「たまに相談している」が7.9%となっており、孫に関する悩みごとを相談している方は11.6%となっています。
- ・一方、孫に関する悩みごとを「相談したいが相談先がわからない」が6.7%を占めています。



相談相手(自由回答)

問 13 孫に関する悩みごとの相談で「1・2」(相談している)を選んだ方

・孫に関する悩みごとの相談している方の相談相手は、「孫の親」が 26.3%、「友人・知人」が 21.1%と多くなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
孫の親	5						
配偶者・パートナー	2						
友人・知人	4						
職場の人	1						
市役所・市の機関の窓口	1						
かかりつけの医療機関	1						
無効・無回答	5						
n (回答者数)	19						

5 若い世代との交流

(1)若い世代との交流機会への参加状況(単一回答)

問14 あなたは若い世代との交流の機会があった場合、参加していますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・若い世代との交流の機会があった場合の参加状況は、「積極的に参加している」が2.6%、「できるかぎり参加している」が20.6%となっており、参加している方は23.2%となっています。
- ・一方、「あまり参加していない」が36.9%、「全く参加していない」が39.2%となっており、参加していない方が76.1%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
積極的に参加している	10	■ 2.6%					
できるかぎり参加している	80	■ 20.6%					
あまり参加していない	143	■ 36.9%					
全く参加していない	152	■ 39.2%					
無効・無回答	3	■ 0.8%					
n (回答者数)	388						

(2)今後の若い世代との交流機会への参加希望(単一回答)

問15 あなたは今後若い世代との交流の機会があった場合、どうしたいですか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・今後若い世代との交流の機会があった場合の参加希望は、「積極的に参加したい」が2.6%、「できるかぎり参加したい」が46.6%となっており、参加したい方は49.2%となっています。
- ・一方、「あまり参加したくない」が40.7%、「全く参加したくない」が9.0%となっており、参加したくない方が49.7%となっています。

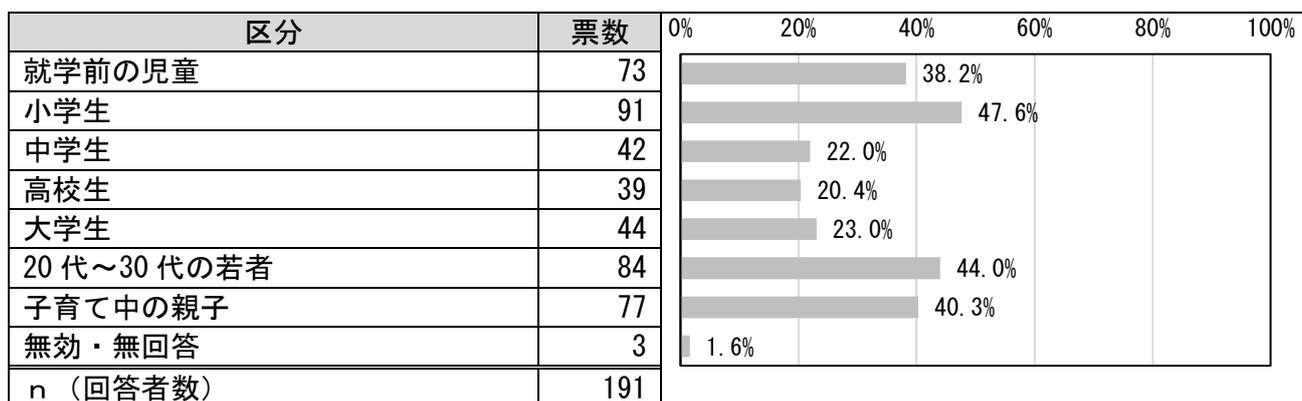
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
積極的に参加したい	10	■ 2.6%					
できるかぎり参加したい	181	■ 46.6%					
あまり参加したくない	158	■ 40.7%					
全く参加したくない	35	■ 9.0%					
無効・無回答	4	■ 1.0%					
n (回答者数)	388						

(3)交流を希望する世代(複数回答)

問15 今後の若い世代との交流機会の参加希望で「1・2」(参加したい)を選んだ方

問16 どのような世代と交流を行いたいと思いますか。あてはまるものすべてをお選びください。

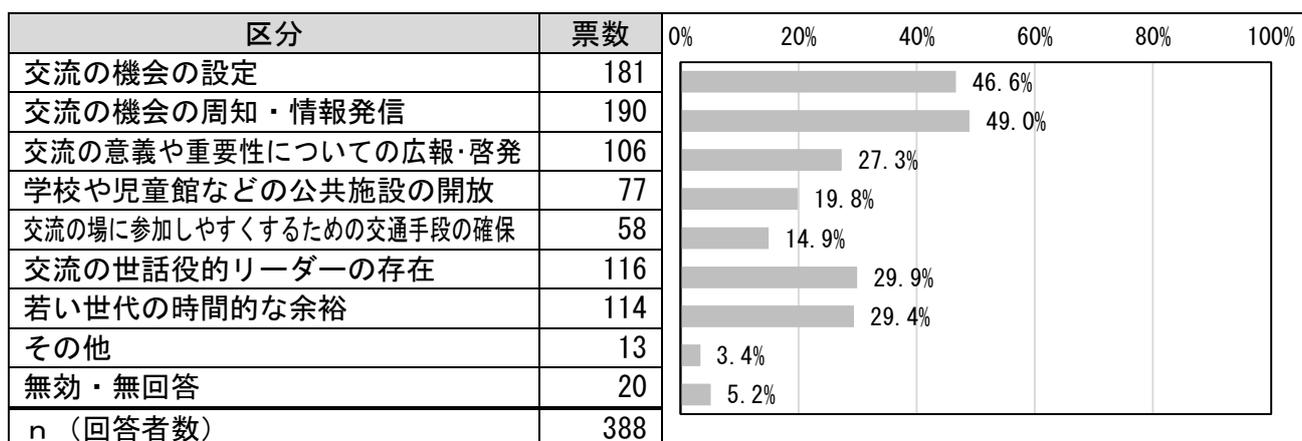
- ・交流を行いたいと思う世代は、「小学生」が47.6%と最も多くなっており、次いで「20代～30代の若者」が44.0%、「子育て中の親子」が40.3%、「就学前の児童」が38.2%となっています。



(4)若い世代との交流促進に必要なこと(複数回答)

問17 若い世代との交流を促進するために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・若い世代との交流を促進に必要なことは、「交流の機会の周知・情報発信」が49.0%と最も多くなっており、次いで「交流の機会の設定」が46.6%、「交流の世話役的リーダーの存在」が29.9%、「若い世代の時間的な余裕」が29.4%となっています。



6 情報の入手先

(1)金沢市の事業の情報の入手先(複数回答※3つまで)

問18 あなたは、金沢市が実施する事業の情報をどのように得ていますか。主なものを3つまでお選びください。

- ・金沢市が実施する事業の情報の入手先は、「回覧板」が最も多く45.9%を占めており、次いで「市の新聞広報」が43.0%、「市の公式LINEやX(旧Twitter)などのSNS」が38.4%、「テレビ、ラジオ」が36.1%となっています。
- ・一方、「情報の入手先がない」が1.3%、「情報の入手手段がわからない」が2.6%を占めています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
親族（親、兄弟姉妹など）	23	5.9%					
隣近所の人、知人・友人	33	8.5%					
市役所や市の機関の窓口	16	4.1%					
市の公式LINEやX(旧Twitter)などのSNS	149	38.4%					
市のホームページ	97	25.0%					
市の新聞広報	167	43.0%					
市の広報以外のインターネット、アプリ	32	8.2%					
テレビ、ラジオ	140	36.1%					
コミュニティ誌・フリーペーパー	27	7.0%					
回覧板	178	45.9%					
情報の入手先がない	5	1.3%					
情報の入手手段がわからない	10	2.6%					
その他	3	0.8%					
無効・無回答	4	1.0%					
n（回答者数）	388						

7 少子化対策

(1)少子化に歯止めをかけるための重要な取組(複数回答※3つまで)

問19 あなたは少子化に歯止めをかけるため、どのような取組が重要だと考えますか。主なものを3つまでお選びください。

- ・少子化に歯止めをかけるための重要な取組は、「仕事と子育てを両立できる職場環境の充実」が最も多く56.7%となっており、次いで「若い世代の賃上げや安定して働くことができる環境の充実」が47.9%、「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の充実」が42.3%、「子育て世帯に対する経済的支援全般」が29.1%、「保育サービスの充実など子育て支援に関する取組」が28.6%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
若い世代の賃上げや安定して働くことができる環境の充実	186	47.9%					
妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の充実	164	42.3%					
仕事と子育てを両立できる職場環境の充実	220	56.7%					
男女の出会いを支援するための取組	70	18.0%					
若い世代が子どもとふれあう機会の創出	6	1.5%					
不妊治療への支援	41	10.6%					
産前・産後ケアの充実	19	4.9%					
子育て世帯に対する経済的支援全般	113	29.1%					
保育サービスの充実など子育て支援に関する取組	111	28.6%					
社会全体で子育てを応援する機運の醸成	96	24.7%					
その他	10	2.6%					
無効・無回答	9	2.3%					
n (回答者数)	388						

8 まちへの親しみ・定住

(1)金沢市への愛着、親しみの有無(単一回答)

問20 あなたは金沢市に愛着や親しみがありますか。

- ・金沢市への愛着や親しみの有無は、「ある」が60.3%、「どちらかといえばある」が35.3%となっており、金沢市への愛着や親しみを感じている方が95.6%となっています。
- ・一方、「どちらかといえばない」が3.4%、「ない」が0.8%となっており、金沢市への愛着や親しみを感じていない方が4.2%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ある	234	60.3%					
どちらかといえばある	137	35.3%					
どちらかといえばない	13	3.4%					
ない	3	0.8%					
無効・無回答	1	0.3%					
n(回答者数)	388						

(2)金沢市への愛着や親しみを感じているところ(複数回答※3つまで)

問20 金沢市への愛着や親しみの有無で「1・2」(ある)を選んだ方

問21 金沢市のどのようなところに愛着や親しみを感じますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- ・金沢市の愛着や親しみを感じているところは、「生まれ育ったまちだから」が最も多く55.0%となっており、次いで「歴史や伝統を感じられる」が39.1%、「安全・安心に暮らせる」が31.5%、「まちなみや景観が美しい」が30.2%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
生まれ育ったまちだから	204	55.0%					
歴史や伝統を感じられる	145	39.1%					
まちなみや景観が美しい	112	30.2%					
文化・芸術活動が盛んである	94	25.3%					
まちに賑わいがある	21	5.7%					
自然が豊かである	79	21.3%					
安全・安心に暮らせる	117	31.5%					
買い物や通勤・通学がしやすい	78	21.0%					
図書館やスポーツ施設などの公共施設が充実している	27	7.3%					
地域コミュニティ活動が盛んである	10	2.7%					
子育てがしやすい	8	2.2%					
親しい友人・知人がいる	92	24.8%					
その他	3	0.8%					
無効・無回答	3	0.8%					
n(回答者数)	371						

(3)金沢市での定住希望(単一回答)

問22 あなたはこれからも金沢市に住み続けたいと思いますか。

- ・金沢市での定住希望は、「ぜひ住み続けたい（複数の生活拠点を持つ場合を含む）」が53.1%、「可能であれば住み続けたい」が37.4%、「一度離れてもいつかは戻ってきて住み続けたい」が0.3%となっており、金沢市に住み続けたいと思っている方が90.8%となっています。
- ・一方、「どちらかといえば住みたくない」が1.5%となっており、金沢市に住み続けたくないと思っている方が1.5%となっています。
- ・また、「どちらともいえない・こだわりはない」が7.5%を占めています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ぜひ住み続けたい（複数の生活拠点を持つ場合を含む）	206	53.1%					
可能であれば住み続けたい	145	37.4%					
一度離れてもいつかは戻ってきて住み続けたい	1	0.3%					
どちらかといえば住みたくない	6	1.5%					
住みたくない	0	0.0%					
どちらともいえない・こだわりはない	29	7.5%					
無効・無回答	1	0.3%					
n（回答者数）	388						

(4)住み続けたい理由(複数回答※2つまで)

問22 金沢市での定住希望で「1～3」(住み続けたい)を選んだ方

問23 金沢市に「住み続けたい」と思う理由は何ですか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- ・金沢市に「住み続けたい」と思う理由は、「生まれ育ったまち（住み慣れたまち）だから」が59.7%と最も多くなっており、次いで「親族や友人・知人がいるから」が32.7%、「買い物や通勤・通学がしやすいから」19.6%となっています。

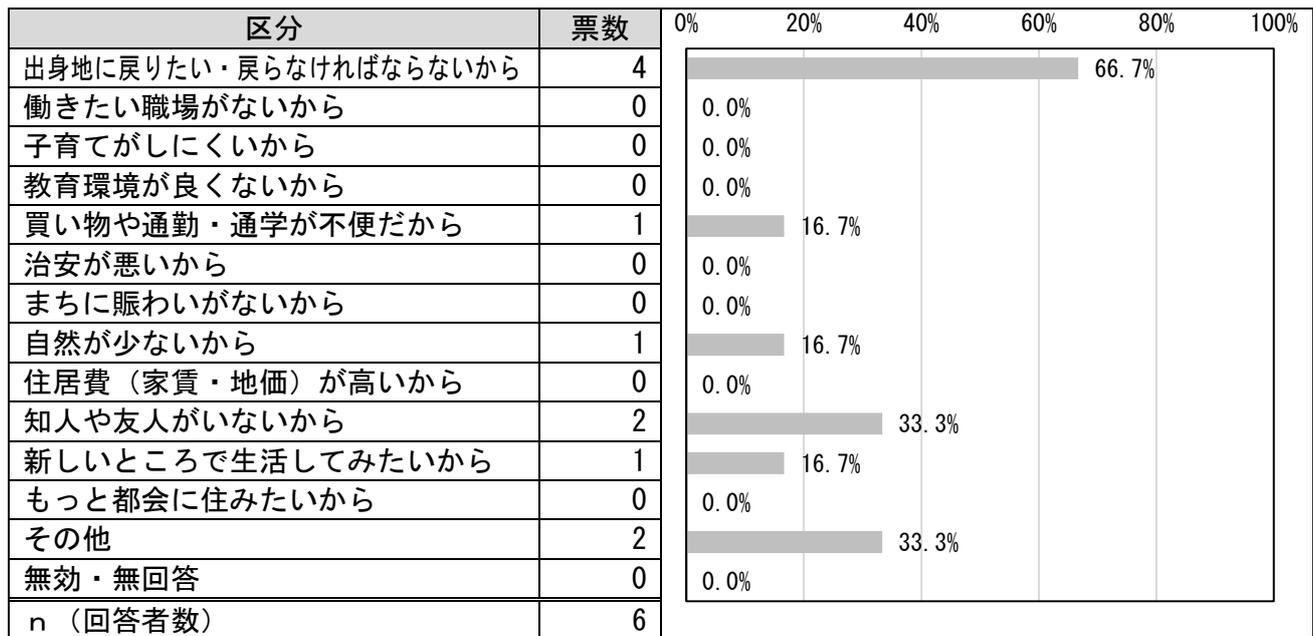
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
生まれ育ったまち（住み慣れたまち）だから	210	59.7%					
働きたい（働いている）職場があるから	63	17.9%					
子育てがしやすいから	10	2.8%					
教育環境が良いから	11	3.1%					
買い物や通勤・通学がしやすいから	69	19.6%					
治安が良いから	38	10.8%					
まちに賑わいがあるから	17	4.8%					
自然が豊かだから	44	12.5%					
住居費（家賃・地価）が安いから	6	1.7%					
親族や友人・知人がいるから	115	32.7%					
歴史や文化を感じられるから	52	14.8%					
その他	3	0.9%					
無効・無回答	4	1.1%					
n（回答者数）	352						

(5)住み続けたくない理由(複数回答※2つまで)

問 22 金沢市での定住希望で「4・5」(住み続けたくない)を選んだ方

問24 金沢市に「住み続けたくない」と思う理由は何ですか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- ・金沢市に「住み続けたくない」と思う理由は、「出身地に戻りたい・戻らなければならないから」が最も多く 66.7%を占めています。



9 自由意見

(1)金沢市の子育ての環境や支援についての意見(自由回答)

問 25 最後に、金沢市の子育ての環境や支援についてご意見がございましたら、ご自由に入力してください。

子育て世帯への支援

- ・金沢は雨の日が多いので無料もしくは安価で親子が楽しく過ごせる屋内施設を充実させていただければと思います。
- ・支援を必要としている家庭に様々な支援の制度がある事を“積極的”に広報して欲しい。
- ・一人親が働きやすい環境を望みます。子供が体調不良でやすむ時、預け場所が少く、仕事をやすまなくてはならず、経済的に苦しくなる。
- ・18歳までの医療費無料化保育園、学童保育の更なる充実が必要。
- ・祖父母の支援あればこその子育てというのが基本になっている感がある。祖父母に支援を頼めない環境の場合でも困らない環境作りが必要だと思う。
- ・自分が20代の頃に比べたら、環境も支援も整いすぎていると思います。今の若い世代が羨ましいです。
- ・地域で子育てを手助け出来るような環境が必要なのかなと考えます。

若者への支援

- ・低賃金の状況下となっている中で、経済的支援をもっと充実して欲しい。
- ・若者の県外への流出を防ぎ、県外の若者が永住できるような政策を期待します。
- ・未婚の男性が周りに目立つ。結婚したと思わない人たちの意識を変えていくにはどうすれば良いのか？少子化への課題の一つのように思う。
- ・子育てしやすい環境も大切だが、若い人に生活の安定を与えないと結婚も出産も無いと思います。

地域活動

- ・仕事を退職してからは子育て支援に関する手伝いをしたいと思っているがどこでどうやって支援をすればいいのか悩んでいる。
- ・短時間でも、子育て支援に参加できる場所(機会)があればと、思います。

その他

- ・経年劣化で使えなくなった遊具がそのまま放置されている、新しいものを作ることも大事かも知れないがある物を安心安全に使えるように整備して行くことも必要だと思う。
- ・市内に限らず車がないと生活できない状況を改善していければと思う。高校など立地条件は今更変えることは出来ないが、通学に不便な場所が多いと感じた。

